



## 2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月12日

上場会社名 成友興業株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 9170 URL <https://seiyukogyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細沼順人  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 川口涼太 TEL 03-3538-4111  
 半期報告書提出予定日 2026年5月13日 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	9,086	15.4	857	30.3	804	32.8	420	27.6
2025年9月期中間期	7,873	15.0	658	13.9	605	10.2	329	△9.7

(注) 包括利益 2026年9月期中間期 489百万円 (38.1%) 2025年9月期中間期 354百万円 (△3.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	149.11	142.99
2025年9月期中間期	117.10	114.03

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	16,947	5,964	33.8
2025年9月期	16,426	5,584	33.0

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 5,732百万円 2025年9月期 5,419百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,835	16.5	1,234	8.2	1,107	8.0	658	9.1	233.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
  - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期中間期	2,821,253株	2025年9月期	2,818,853株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	1,000株	2025年9月期	500株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年9月期中間期	2,818,958株	2025年9月期中間期	2,812,355株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)	8
(中間連結貸借対照表に関する注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、緩やかに回復しております。景気は雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要があります。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向等に注意する必要があります。

当社グループを取り巻く建設業界・廃棄物処理業界におきましては、公共投資の底堅い推移や、民間設備投資の持ち直しの動きもあり、全体としては堅調に推移しております。しかしながら、資材価格の高騰や労務費の上昇が主な原因となり、建設費が上昇しております。

こうした状況下において、当社グループは、M&Aを実施したグループ各社共に事業の改革に努め、また既存事業においても、工事の大型化や建設系廃棄物の受け入れ拡大に努めた結果、当中間連結会計期間において増収増益となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は9,086,625千円（前年同期比15.4%増）となりました。営業利益は857,972千円（前年同期比30.3%増）、経常利益は804,113千円（前年同期比32.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は420,339千円（前年同期比27.6%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (環境事業)

首都圏の再開発現場から排出される汚染物質を含んだ土砂系廃棄物の受注により、城南島事業所の受入量が前年同期比で2割弱程度増加しました。さらに、解体工事に伴って発生するコンクリート塊の受入処理単価は高い水準を維持しております。以上の結果、売上高は4,861,262千円（前年同期比19.8%増）、セグメント利益は993,358千円（前年同期比40.3%増）となりました。

#### (建設事業)

第1四半期に引き続き、前期に受注した約7億円規模の一般土木工事を含む官庁の繰越工事が順調に進捗しました。一方で、街路築造工事の設計変更に伴う工期延伸の影響に加え、第2四半期に受注した過去最大規模となる総請負高約100億円（うち当社請負高約20億円）のJV工事及び東京都財務局発注の約12億円の一般土木工事において、着工時期が第3四半期以降へずれ込みとなりました。以上の結果、売上高は、3,532,022千円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益は、328,762千円（前年同期比2.4%減）となりました。

#### (環境エンジニアリング事業)

土壌汚染対策工事において、原位置浄化工法など対策工法の多角化に努め、工事案件の大型化に注力した結果、1件あたりの受注金額が増加しました。加えて、対策工事案件が順調に進捗した結果、売上高は519,846千円（前年同期比155.7%増）、セグメント利益は42,303千円（前年同期比144.6%増）となりました。

#### (その他事業)

建設工事の警備業においては、休工の発生及び受注不足が主因となり稼働数の確保に苦戦しました。以上の結果、売上高は173,494千円（前年同期比29.9%減）、セグメント利益は4,227千円（前年同期比75.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は6,936,441千円となり、前連結会計年度末に比べ750,239千円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が515,753千円、契約資産が326,690千円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は10,011,483千円となり、前連結会計年度末に比べ228,549千円減少いたしました。主な要因は、減価償却等によるものであります。この結果、総資産は、16,947,924千円となり、前連結会計年度末に比べ521,689千円増加いたしました。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は5,521,209千円となり、前連結会計年度末に比べ502,943千円増加いたしました。主な要因は、短期借入金が800,000千円、工事未払金が135,160千円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定負債は5,462,389千円となり、前連結会計年度末に比べ360,588千円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の返済により234,229千円減少したこと等によるものであります。この結果、負債合計は、10,983,598千円となり、前連結会計年度末に比べ142,355千円増加いたしました。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は5,964,325千円となり、前連結会計年度末に比べ379,334千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が307,601千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月7日に公表いたしました通期の予想数値から変更はありません。なお、連結業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,974,110	2,783,664
受取手形及び売掛金	1,617,343	2,133,096
完成工事未収入金	92,259	102,548
契約資産	1,310,642	1,637,333
原材料及び貯蔵品	39,615	42,390
未成工事支出金	64,882	117,804
その他	96,178	128,832
貸倒引当金	△8,831	△9,230
流動資産合計	6,186,201	6,936,441
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,931,486	3,943,756
機械装置及び運搬具	3,175,701	3,201,200
建設発生土処分場	560,000	560,000
土地	4,751,607	4,766,607
リース資産	604,194	609,586
建設仮勘定	45,360	45,797
その他	176,021	177,623
減価償却累計額	△4,247,766	△4,421,983
有形固定資産合計	8,996,605	8,882,589
無形固定資産		
のれん	884,752	775,074
その他	6,640	24,884
無形固定資産合計	891,393	799,958
投資その他の資産		
投資有価証券	12,055	17,696
繰延税金資産	148,563	122,795
その他	191,414	188,443
投資その他の資産合計	352,034	328,935
固定資産合計	10,240,032	10,011,483
資産合計	16,426,234	16,947,924

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,144,972	926,453
工事未払金	639,907	775,067
短期借入金	500,000	1,300,000
1年内償還予定の社債	10,000	7,500
1年内返済予定の長期借入金	1,046,671	1,046,191
リース債務	122,701	114,530
未払法人税等	244,167	321,636
賞与引当金	148,235	155,436
契約負債	705,174	411,906
その他	456,435	462,487
流動負債合計	5,018,266	5,521,209
固定負債		
社債	602,500	600,000
長期借入金	4,520,377	4,286,147
リース債務	343,683	300,113
資産除去債務	15,881	15,943
その他	340,534	260,183
固定負債合計	5,822,977	5,462,389
負債合計	10,841,243	10,983,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	375,382	376,620
資本剰余金	437,782	439,020
利益剰余金	4,602,582	4,910,183
株主資本合計	5,415,747	5,725,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,505	6,868
その他の包括利益累計額合計	3,505	6,868
非支配株主持分	165,737	231,631
純資産合計	5,584,990	5,964,325
負債純資産合計	16,426,234	16,947,924

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	7,873,344	9,086,625
売上原価	6,411,925	7,346,273
売上総利益	1,461,419	1,740,352
販売費及び一般管理費	802,781	882,379
営業利益	658,638	857,972
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,371	2,908
受取賃貸料	1,760	2,280
保険金収入	3,879	307
助成金収入	13,538	4,873
その他	1,815	2,569
営業外収益合計	22,364	12,938
営業外費用		
支払利息	51,779	62,934
借入手数料	20,760	3,674
その他	2,846	188
営業外費用合計	75,386	66,797
経常利益	605,616	804,113
特別利益		
固定資産売却益	13,555	9,722
特別利益合計	13,555	9,722
特別損失		
固定資産除売却損	2,936	300
損害賠償金	2,710	—
特別損失合計	5,647	300
税金等調整前中間純利益	613,525	813,535
法人税、住民税及び事業税	208,668	303,082
法人税等調整額	50,825	24,219
法人税等合計	259,493	327,301
中間純利益	354,031	486,233
非支配株主に帰属する中間純利益	24,713	65,894
親会社株主に帰属する中間純利益	329,317	420,339

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	354,031	486,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	423	3,363
その他の包括利益合計	423	3,363
中間包括利益	354,455	489,597
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	329,741	423,703
非支配株主に係る中間包括利益	24,713	65,894

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	613,525	813,535
減価償却費	196,437	212,936
のれん償却額	95,192	109,678
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,573	398
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,552	7,201
受取利息及び受取配当金	△1,371	△2,908
支払利息	51,779	63,095
有形固定資産売却損益(△は益)	△10,619	△9,421
損害賠償金	2,710	-
売上債権の増減額(△は増加)	△723,034	△852,733
仕入債務の増減額(△は減少)	△54,186	△83,359
契約負債の増減額(△は減少)	848,175	△293,267
その他	△207,393	△208,027
<b>小計</b>	<b>818,341</b>	<b>△242,872</b>
利息及び配当金の受取額	1,371	2,908
利息の支払額	△53,947	△63,664
損害賠償金の支払額	△2,710	-
法人税等の還付額	-	5,730
法人税等の支払額	△222,046	△226,153
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>541,008</b>	<b>△524,052</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	8,202	194,484
有形固定資産の取得による支出	△70,944	△36,807
有形固定資産の売却による収入	17,580	7,174
投資有価証券の取得による支出	△717	△728
貸付金の回収による収入	-	1,666
貸付金の貸付による支出	△5,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△125,097	-
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△175,977</b>	<b>165,790</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,100,000	800,000
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△440,254	△534,709
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
リース債務の返済による支出	△37,804	△52,710
割賦債務の返済による支出	△1,245	△35,015
株式の発行による収入	5,174	2,475
配当金の支払額	△84,292	△112,738
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>536,577</b>	<b>362,301</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>901,608</b>	<b>4,039</b>
現金及び現金同等物の期首残高	2,280,618	2,560,625
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,182,227	2,564,664

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 当社グループにおいては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく前連結会計年度末及び当中間連結会計期間末における当座貸越契約及び貸出コミットメント契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額	2,550,000千円	2,250,000千円
借入実行残高	500,000	1,300,000
差引額	2,050,000	950,000

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
役員報酬	103,793千円	104,097千円
給料及び手当	190,147	247,024
退職給付費用	3,072	5,780
賞与引当金繰入額	37,204	35,488

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
現金及び預金勘定	3,605,511千円	2,783,664千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△423,284	△219,000
現金及び現金同等物	3,182,227	2,564,664

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	環境事業	建設事業	環境エンジニア リング事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	4,057,419	3,365,134	203,298	7,625,852	247,492	—	7,873,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,926	9,740	—	15,666	22,348	△38,015	—
計	4,063,346	3,374,874	203,298	7,641,519	269,841	△38,015	7,873,344
セグメント利益	707,895	336,729	17,297	1,061,922	16,974	△420,259	658,638

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、建設工事現場・イベント等の警備業を含んでおります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。  
セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△95,192千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用△324,648千円及びセグメント間取引消去△417千円が含まれております。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	環境事業	建設事業	環境エンジニア リング事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	4,861,262	3,532,022	519,846	8,913,131	173,494	—	9,086,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,800	5,956	—	52,757	40,013	△92,770	—
計	4,908,062	3,537,979	519,846	8,965,888	213,507	△92,770	9,086,625
セグメント利益	993,358	328,762	42,303	1,364,424	4,227	△510,679	857,972

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、建設工事現場・イベント等の警備業を含んでおります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。  
セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△109,678千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用△384,636千円及びセグメント間取引消去△16,364千円が含まれております。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。